

校長室だより

日本福祉大学付属高校 2020年5月11日

万人の福祉のために
真実と慈愛と献身を



今週からオンライン授業が始まります

生徒の皆さん、元気で過ごしていますか。新型コロナウイルス感染防止のため、本校も5月末まで休校措置をとることになりました。すでにHPでお知らせしているように、学年ごとの登校日を設定します。(3年→5月25日(月)、2年→5月26日(火)、1年→5月27日(水))*時間は別途連絡)
また長期の休校に対応するため、これまでの課題に加えて動画配信やオンライン授業を開始しています。他にGoogle Classroomを活用しての朝のSTも行っています。先生方はオンライン授業等に向けて頑張っています。基本的にはHPに示された時間割に沿って、計画的に学習を行ってください。



体育の授業も動画で配信

離れていても心は一つ！ 和太鼓部テレ演奏に挑戦



先週のEテレで、ある交響楽団が「音楽でできること」と題して、ウィリアム・テル序曲をテレワークで演奏していました。まるで同じ場所で演奏しているように感じました。本校でも和太鼓部がテレ演奏に挑戦。バチの代わりにペットボトルを代用したり、素手で机を叩いたりして、見事に曲を演奏。離れていても息の合った演奏に感心しました。学校が再開したら、みんなで一緒に演奏するのを見るのが楽しみです。

When This is All Over・・・君たちは何をしますか

緊急事態宣言が解除されたら、こんなことあんなことをやりたいと思っている人がいると思います。みんなと話す、授業を受ける、部活を一生懸命やるなど・・・その日を期待しながら今は我慢して過ごしましょう。

I want to go to library, go cycling, meet my old friends, go back to my hometown, and especially meet every student ASAP!

(お知らせ) PTA総会は中止します

5月23日に予定していましたPTA総会及び文化講演会(文化のつどい)は中止します。代わりに文書により意見集約を行います。よろしくお願ひします。尚、第1回PTA役員会は6月20日(土)の予定です。

☆心に残った記事

「外国語はグローバル社会を生き延びる

ビジネスツールと単純にとらえてはいけません」

- Q. 感染拡大で国境を超えた行き来が難しくなる中、外国語教育をどう考えますか。
- A. 「・・・国境や言語の違いで人々が分断される中、外国語を学ぶ意味はいっそう重要性を持つでしょう。世界を分断から守るには、他者を知り、他者を愛するしかすべはないのですから。外国語を、グローバル社会を生き延びるビジネスツールと単純にとらえてはいけません。コロナ後の世界はこれまで以上に高い社会的なミッションが託されることになる。それぞれの言語を母語とする人や文化を愛することを通して、世界にはびこる差別や憎しみを克服する第1歩を踏み出さなくてはなりません。」

(名古屋外国語大学、亀山郁夫学長の言葉) 中日 4/29

= この1冊 =

「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっと

ブルー」 (ブレイディみかこ) 新潮社

英国在住の著者の一人息子ダニエル君が、名門カトリックの小学校から、人種も貧富も多様な「元底辺中学校」に進学し、そこで様々な体験をし、悩みながらも成長していく記録。私が特に印象に残ったのは、ダニエル君が期末試験問題に対して答えた「自分で誰かの靴を履いてみる」という言葉です。(=他人の立場に立ってみるという意味)
ますますグローバル化が進む時代、私たちが身に付けなければならない態度と言えます。考えさせられることの多い一冊でした。

(図書室にあります)